



## 自立活動について

巡回相談に伺った折に、「自立活動」についてのお尋ねをよく受けます。そこで今回は自立活動について、お知らせしたいと思います。

### 自立活動とは何ですか？



各教科等で育まれる資質・能力に共通する3つの柱[①知識及び技能 ②思考力、判断力、表現力 ③学びに向かう力、人間性等]を支える役割を担います。

Eさんが、**自立**を目指し、プリントの文字が見えにくいという障害による学習上または生活上の困難を**主体的に**改善・克服しようと、弱視レンズ等を活用するために、必要な知識、技能、態度及び習慣を**養い**、心身の調和的発達の**基盤を培う**ことに着目して**指導**する教育活動です。

自立活動は学校の教育活動全般を通じ計画的、組織的に行う指導領域です。

### 自立活動の時間における指導



補い合って、効果的な指導が求められます



各教科、道徳科、外国語活動、総合的な時間及び特別活動の指導

# 自立活動の内容は？

## 心身の調和的発達の**基盤**

「障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服するために必要な要素」



「人間としての基本的な行動を遂行するために必要な要素」

自立活動は6区分27項目に分類されています

- 1 健康の保持 (1)~(5)
- 2 心理的な安定 (1)~(3)
- 3 人間関係の形成 (1)~(4)
- 4 環境の把握 (1)~(5)
- 5 身体の動き (1)~(5)
- 6 コミュニケーション (1)~(5)

「特別支援学校教育要領・  
学習指導要領解説

### 自立活動編

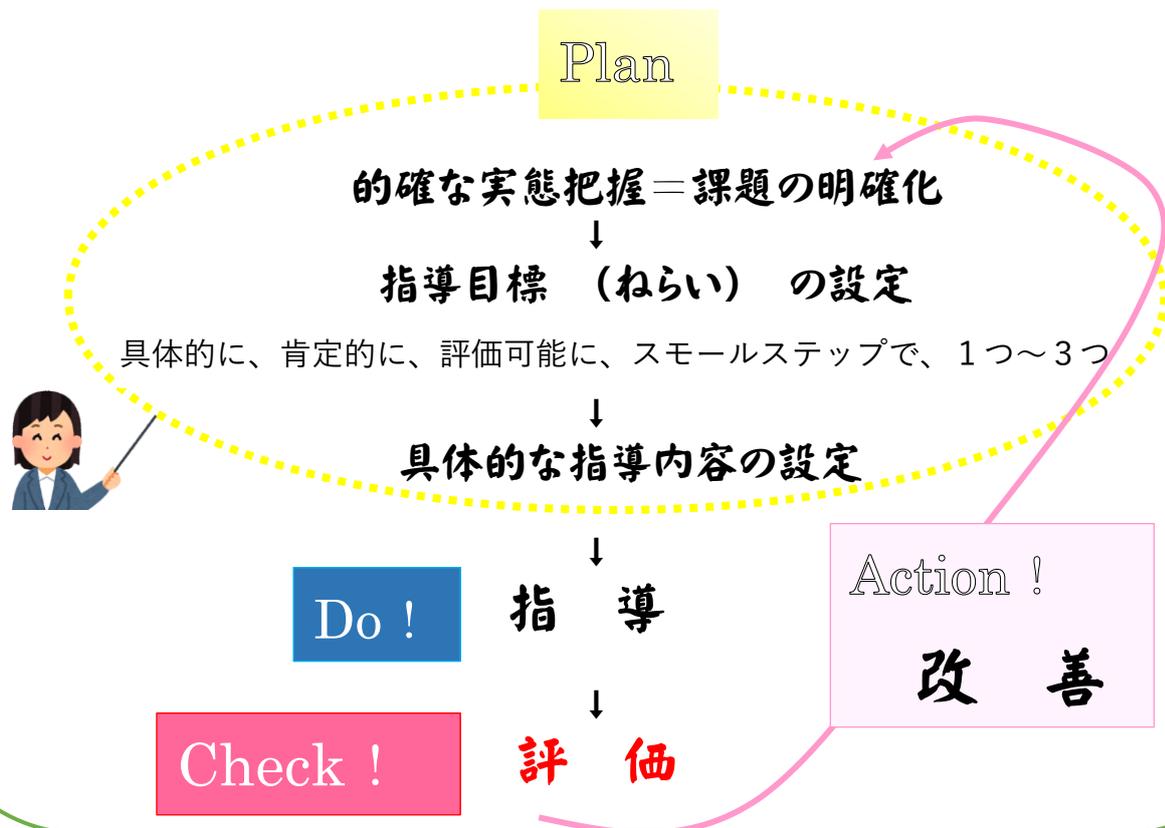
(幼稚部・小学部・中学部)」  
を繰り返しお読みください。

## 個別の指導計画とは？

「個別の指導計画」は、具体的な教育場面における指導のための計画のことで、幼児児童生徒一人一人の障害等の状態に応じたきめ細かな指導が行えるよう、学校における教育課程や指導計画、当該幼児児童生徒の「個別の教育支援計画」等を踏まえて、指導目標や指導内容・方法等を盛り込んだ指導計画のことです。

「個別の教育支援計画」が、対象となる幼児児童生徒に対して、長期にわたる一貫した支援を行う連携のためのツールであるのに対して、「個別の指導計画」は、対象となる幼児児童生徒に対して具体的な指導を行うため、指導目標や指導内容、指導方法を個別に設定した計画のことです。

個々の障害の状態や特性および心身の発達の段階等に即して指導するために



特別支援学校教育要領・学習指導要領解説自立活動編 P28 にある 実態把握から具体的な指導内容を設定するまでの流れを示した「流れ図」を添付しております。ぜひ、ご覧ください。

## 自立活動の具体的な指導例

### 〈タブレット端末を活用する練習〉

資料や黒板をカメラで撮影したりスキャンしたり、各種ファイルを読んだり、色を反転させて見たりなど、様々な機能・アプリを活用できるように練習をします。



### 〈定規やはさみなどを使う練習〉

定規や分度器、コンパス、はさみやカッターなど、その使い方や練習なども大事な活動の一つです。定規や分度器は視覚障害があっても見えやすい使いやすいのがあります。試してみましょう。



## 〈教科書などを読む練習〉

同じ行を繰り返し読んだりせず、スムーズに読み進むことができるようになる練習をします。必要に応じてリーディングスリット(右図)を使って練習をします。



## 〈視覚補助具を活用するための練習〉

「単眼鏡」 持ち歩きも簡単な単眼鏡は、気軽に遠方のものを確認できるものです。しかし、ピント合わせなど練習と習熟が必要なため自立活動で練習します



「ルーペ・レンズ」 容易に文字などが拡大できるルーペは、大変便利なものです。教科の授業やテストなど、必要な時にすぐ使えるように自立活動で練習します。



## 〈見方を上手にする(視覚認知力を高める)学習や、目と手の協応動作を向上させ、手指の巧緻性を高める学習〉

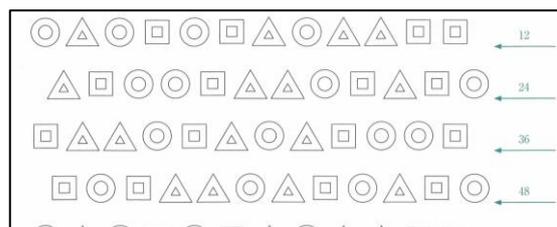
日常生活や教科の学習で必要となる、紙の折り方、ひもの結び方、計測器具や実験器具の扱い方、縫い物やミシン操作、包丁などの調理器具の使い方、彫刻刀、のこぎり、金槌などの使い方などを練習することも、大切な活動です。また、図形や絵の違い探し、図形の書き写し、形の構成などのビジョントレーニングも自立活動で取り扱います。



(ミシンの練習)



(包丁の練習)



(形なぞり)